

株式会社 REC

エコアクション21

《対象期間2022年1月～2022年12月》



®環境省
エコアクション21
認証番号0009922

環境経営レポート

2022



発行日 2023年3月2日

目次

◆ 環境経営方針

1. 組織の概要
2. 認証・登録の範囲
3. 体制図及び認証登録範囲図
 《体制図》 《責任と役割及び権限》
4. 環境経営目標
 《環境目標(原単位)》
 《二酸化炭素排出量の目標(総量)》
5. 期間1年間の目標及び取組結果の評価(全店及び支店間比較)
 - ①環境目標及びその達成状況
 - ②環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無
7. 代表者による全体評価と見直しの結果
8. 環境経営レポートハイライト

環境経営方針

【基本理念】

株式会社 REC は、総合設備工事会社として、
お客様に安心・安全とより良い環境を提供し、社会に信頼される企業を目指しております。
同時に、携わる仕事の中で、環境に配慮したシステムの提案、
施工方法の構築に取り組む事が重要であると考えています。
このような認識のもと、地球にやさしい環境の創造と地球環境に配慮し、
住みよい地域社会実現のために社会的責任を果たし、
持続的な発展が可能な社会づくりに継続して、貢献いたします。

【SDGs宣言】



株式会社RECは、総合設備工事とEA21の活動を通してSDGsの推進に取り組むことで
持続的な社会の実現を目指して参ります。



5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
8. 働きがいも 経済成長も
13. 気候変動に具体的な対策を

【行動指針】

1. 総合設備工事を通して、環境負荷の低減に向けて組織的に取り組みます。
2. 環境に配慮した工法を提案します。
3. 環境関連法規等を遵守します。
4. 化学物質の適正管理に努めます。
5. 環境経営方針を文書化し、従業員に周知徹底します。
6. 環境への取り組みを環境経営レポートにして公表します。



【改定日】 2022年 4月 1日

株式会社 REC
代表取締役社長

有明芳男

1. 組織の概要

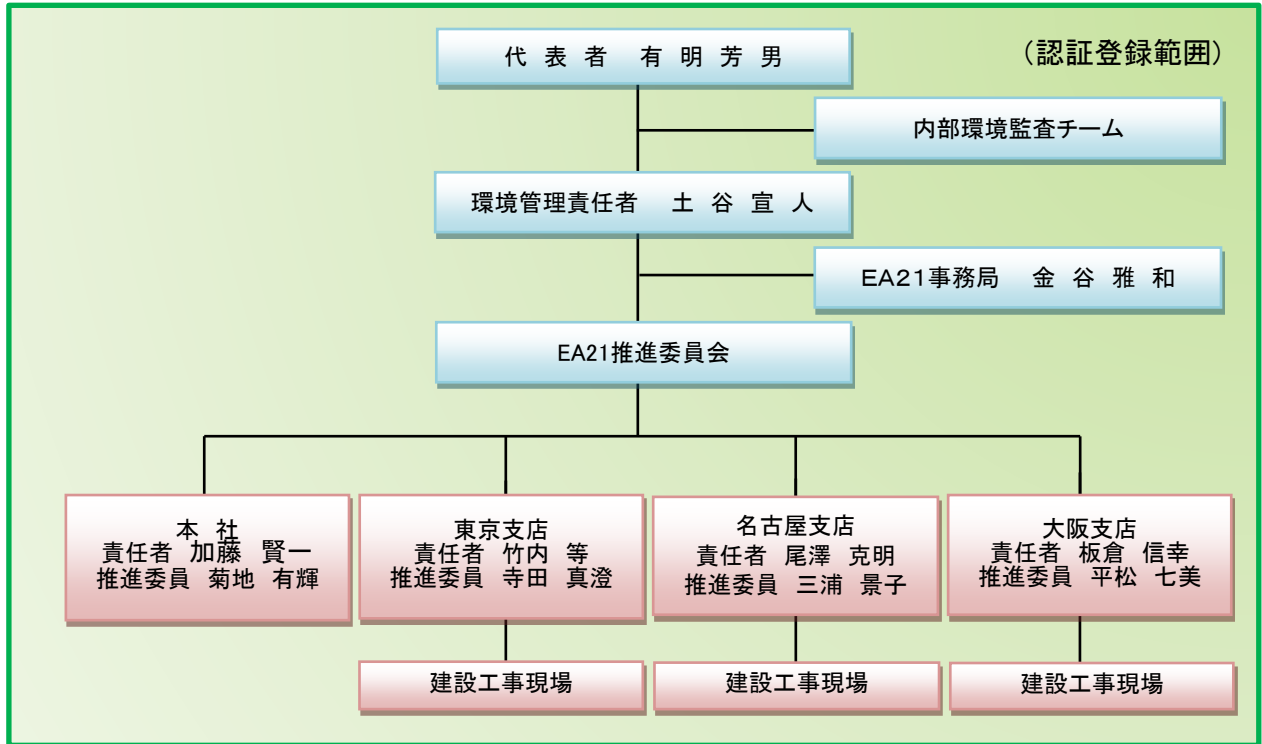
- 《事業者名称》 株式会社 REC
- 《代表者》 代表取締役社長 有明 芳男
- 《所在地》
- ◆本社 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-3
ステーションプラザタワーアネックスウエスト
 - ◆東京支店 〒113-0022 東京都文京区千駄木3-46-2
 - ◆名古屋支店 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-4-11日新火災名古屋ビル
 - ◆大阪支店 〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-6-6 カーニープレイス西本町
- 《設立年月日》 創業：1984年 2月 1日
- 《資本金》 9,500万円
- 《事業内容》 総合設備工事業
・許可:建設業
- | | |
|---------------------|---------|
| 国土交通大臣許可(特-2)10783号 | 管工事業 |
| 国土交通大臣許可(特-2)10783号 | 建築工事業 |
| 国土交通大臣許可(般-2)10783号 | 電気工事業 |
| 国土交通大臣許可(般-2)10783号 | 消防施設工事業 |
- 《環境管理責任者》 氏名:土谷 宣人
- 《連絡担当者》 EA21事務局
氏名:金谷 雅和
TEL:03-5814-1240
E-mail: m-kanaya@rec-s.co.jp
- 《事業の規模》
- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| ◆年間工事高(2022年12月期) | 3,049,282千円(全社) |
| ◆工事件数(2022年12月期) | 1,174件(全社) |
| ◆事務所(本社・3支店)(2022年12月31日現在) | 1,028.45㎡(全社) |
| ◆全従業員(2022年12月31日現在) | 92名(全社) |

2. 認証・登録の範囲

- 《登録組織名》 株式会社 REC
- 《登録の範囲》 全組織 ・ 全活動 ・ 全従業員

3. 体制図及び認証登録範囲図

≪体制図≫



≪責任と役割及び権限≫

担当者	責任と役割及び権限
代表取締役 有明 芳男	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ● 経営資源の準備 ● 全体の評価と見直し・指示の実施 ● 環境経営レポートの承認 ● 経営における課題とチャンスの明確化 ● 実施体制の構築及び全従業員への周知
内部環境監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> ● 各支店の活動内容が、環境経営方針、環境経営目標の達成に適切かを検証 ● 内部環境監査結果報告書を作成しEA21推進委員会へ報告
環境管理責任者 土谷 宣人	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営システムの構築・実施・管理 ● 法規制等の取りまとめ ● 環境経営レポートの確認 ● 環境活動取組に結果を代表者へ報告
EA21事務局 金谷 雅和	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ● 環境経営レポートの作成 ● 計画書・手順書作成及び管理 ● 環境経営レポートの作成・公表(事務局に備付けと地域事務局への送付)
各店責任者	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境管理責任者への支援 ● 環境経営計画表への定期的な評価・指示 ● 環境教育訓練の作成・実施 ● 環境教育訓練計画書・手順書の作成及び管理
EA21推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画書・手順書作成及び管理 ● 環境経営方針への理解と取組みへの自覚 ● 従業員に対する環境教育訓練の実施 ● 問題点の発見・是正・予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ● 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境目標(排出量及び原単位)

《環境目標(排出量及び原単位)》

(表-1)

		基準年度	短期目標	中長期目標
		2019年1月～ 2019年12月	2022年1月～ 2022年12月	2022年1月～ 2022年12月
電力使用量削減	CO2排出量	54,965	※ 53,316	53,316
	kg-CO2/床面積㎡	53.4	51.8	51.8
	削減目標	100 %	97.0 %	97.0 %
燃料使用量削減 (ガソリン)	CO2排出量	32,629	31,650	31,650
	kg-CO2/km	2.05	1.99	1.99
	削減目標	100 %	97.0 %	97.0 %
廃棄物排出量の削減(一般)	排出量	4,557	4,420	4,420
	kg/人	58.9	57.1	57.1
	削減目標	100 %	97.0 %	97.0 %
産業廃棄物に占める混合廃棄物割合の削減	排出量	77,454	73,581	73,581
	%	28.1%	26.7%	26.7%
	削減目標	100 %	95.0 %	95.0 %
総排水量削減	排水量	619	※ 600	600
	㎥/人	11.8	11.4	11.4
	削減目標	100 %	97.0 %	97.0 %
グリーン購入	%	53.0%	59.0%	59.0%
	削減目標	100 %	106 %	106 %
環境に配慮した施工方法の提案	件	104	114	114
	削減目標	100 %	110 %	110 %

2022年が3か年計画の最終年になります。

※化学物質については使用していない為、除外と致します。

《二酸化炭素排出量の目標(総量)(単位:kg-CO2)》

(表-2)

		基準年度	短期目標	中長期目標
		2019年1月～ 2019年12月	2022年1月～ 2022年12月	2022年1月～ 2022年12月
二酸化炭素排出量削減		87,593	84,965	84,965
		100 %	97.0 %	97.0 %
	電力使用量削減	54,965	53,316	53,316
		100 %	97.0 %	97.0 %
	燃料使用量削減 (ガソリン)	32,629	31,650	31,650
		100 %	97.0 %	97.0 %

(注) 購入電力の排出係数は、国が公表する電気事業者毎の排出係数

※ 電力、産業廃棄物混合廃棄割合は、コロナ禍により2019年基準の達成が困難な為、基準年度を2020年としております

2018年度実績値(2020年1月7日公表)

店名	排出係数	電気事業者名
本社	0.462kg-CO2/kWh	東京電力エナジーパートナー株式会社
東京支店	0.398kg-CO2/kWh	東京ガス株式会社
名古屋支店	0.472kg-CO2/kWh	中部電力株式会社(中部電ライズ)
大阪支店	0.418kg-CO2/kWh	関西電力株式会社

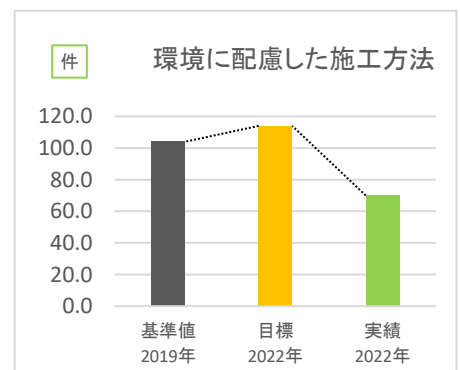
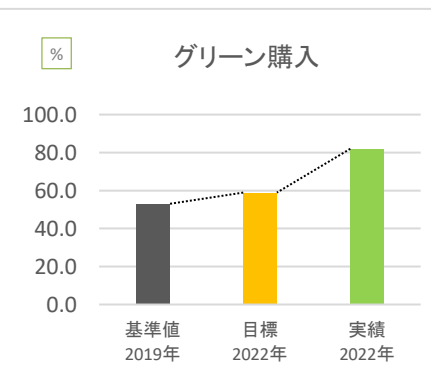
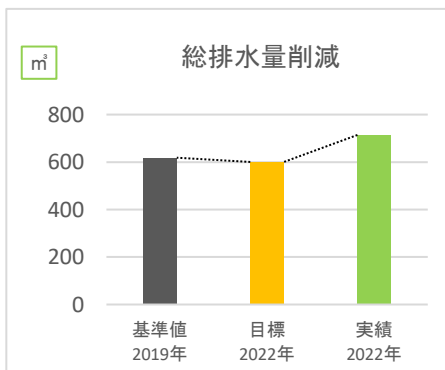
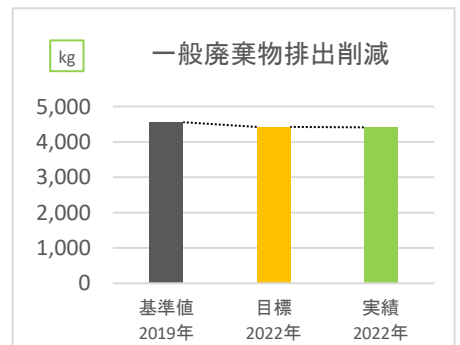
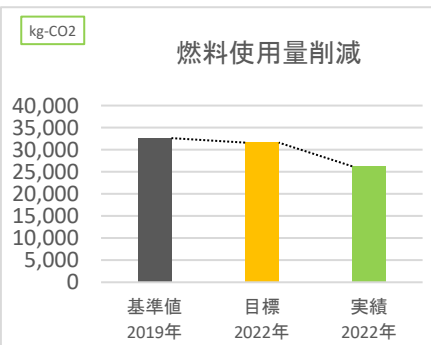
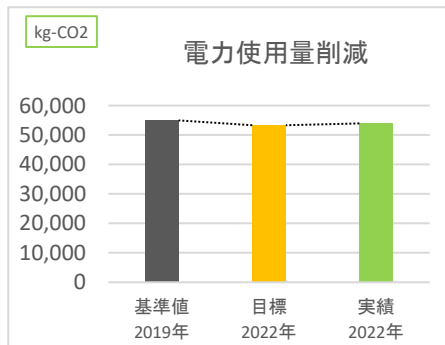
5. 期間1年間の目標及び取組結果の評価（全店）

①環境目標及びその達成状況（期間：2022年1月1日～12月31日）

（表－1）

		基準値	目標	実績	要因と評価
		2019年	2022年	2022年	
		1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	
電力使用量削減	CO2排出量	54,965	53,316	53,917	・コロナ禍の窓開換気をしながらの空調利用により、当初の基準年(2019年)の達成が困難であるため基準年を同条件の2020年に変更しました。その結果、目標値を未達成であるが削減できたことは評価できる。
	kWh/床面積	53.4	51.8	52.4	
	増減率	100 %	97.0 %	98.2 %	
燃料使用量削減 (ガソリン)	CO2排出量	32,629	31,650	26,251	・目標値を大幅に下回った要因としては、近距離の現場への移動には、公共交通機関を利用し、自動車の使用が遠距離現場への移動に限られた結果であると思われる。
	kg-CO2/km	2.05	1.99	1.95	
	増減率	100 %	97.0 %	95.1 %	
一般廃棄物排出量の削減	排出量	4,557	4,420	4,412	・基準値を上回ってしまった要因には、本社と名古屋支店の排出量の増加がある。特に本社の不要書類を一斉に破棄したことにある。
	kg/人	58.9	57.1	59.9	
	増減率	100 %	97.0 %	101.7 %	
産業廃棄物に占める混合廃棄物割合の削減	排出量	77,454	73,581	112,085	・混廃率が大幅に増加した。要因としては、現場の敷地面積が狭く、分別コンテナを置く余裕がなかったことが上げられる。
	%	28.1%	26.7%	43.5%	
	増減率	100 %	95.0 %	154.8 %	
総排水量削減	排水量	619.0	600.4	714.0	・コロナ禍の影響が多少はあると思われる。しかし、節水意識を持つことで、出しっぱなしなどで無駄にしないよう1人1人の節水意識を高めて行きたい。
	m ³ /人	11.8	11.4	12.5	
	増減率	100 %	97.0 %	105.7 %	
グリーン購入	%	53.0%	59.0%	82.0%	・物品の購入の際にはグリーン商品を優先的に購入することが意識づけられている。今後も、100%を目指し推進していきたい。
	増減率	100 %	111 %	154.7 %	
環境に配慮した施工方法の提案	件	104	114	70	・昨年からの提案数、内容とも低迷しています。来年からは、評価基準を変更して、より環境効果のある提案をしていきたい。
	増減率	100 %	109.6 %	67.3 %	

※ 電力、産業廃棄物混合廃棄割合は、コロナ禍により2019年基準の達成が困難な為、基準年度を2020年としております

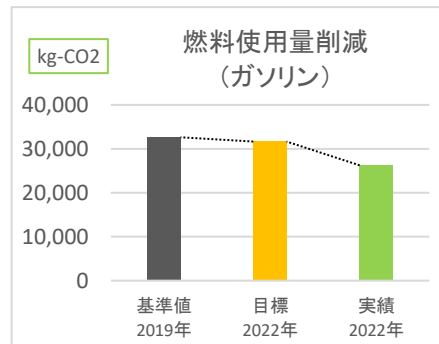
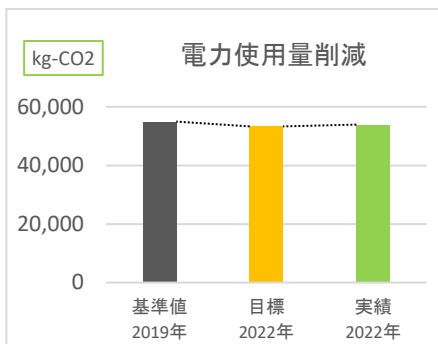
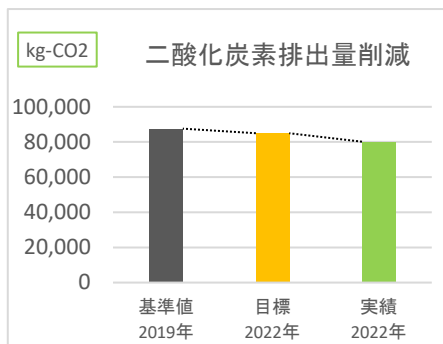


※期間における二酸化炭素排出量の目標と実績（排出量）

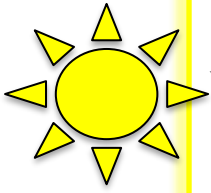
(表-2)

	基準値	目標	実績	要因と評価
	2019年	2022年	2022年	
	1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	
二酸化炭素排出量削減	87,593	84,965	80,168	コロナ禍の影響と働き方改革による残業の減少と遠距離現場が少なかったことが多くな要因と考えられる。特に、ガソリン使用量の大幅な減少が排出量の削減につながった。 目標値を達成できなかったものの、基準値を下回ったことは評価できる。LED化(名古屋)と労働時間の減少による効果が大きいと思われるが、昼休みの消灯、エアコンの温度設定も一定の効果をもたらしていると考えられる。 遠距離現場の減少(名古屋)により自動車の走行距離が減った結果、ガソリン使用料総量が減少したと考える。公共交通機関の利用を心がけたことも削減に貢献したと思われる。
	100 %	97.0 %	91.5 %	
電力使用量削減	54,965	53,316	53,917	
	100 %	97.0 %	98.1 %	
燃料使用量削減 (ガソリン)	32,629	31,650	26,251	
	100 %	97.0 %	80.5 %	

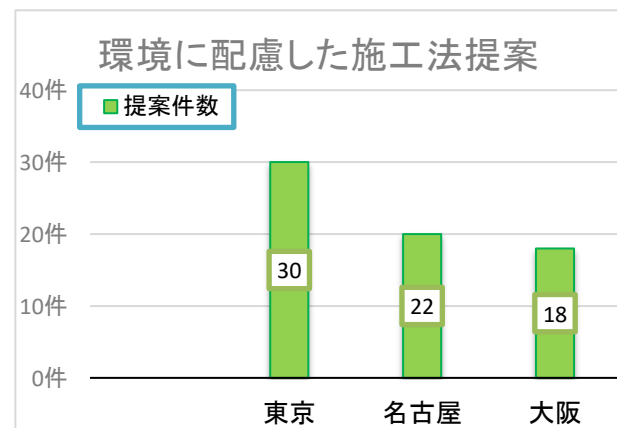
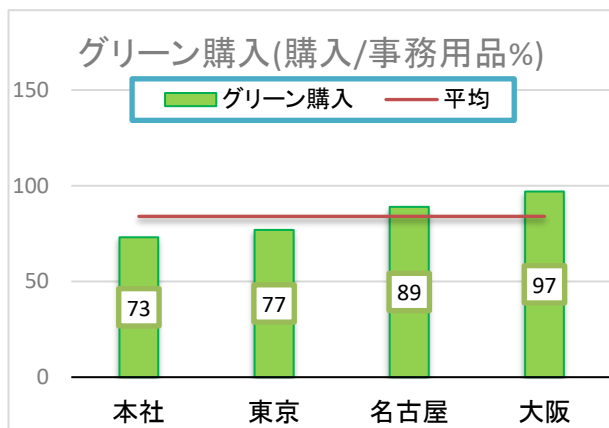
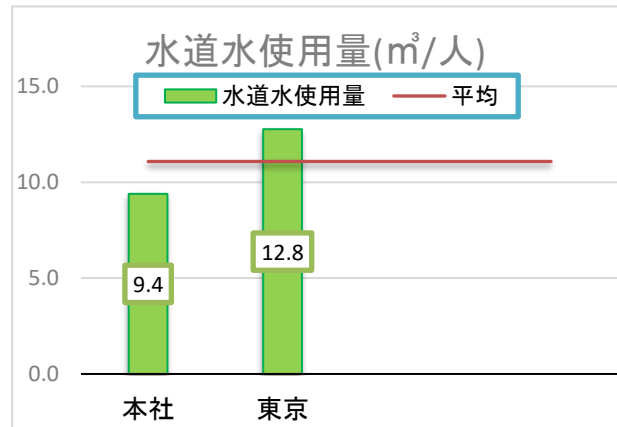
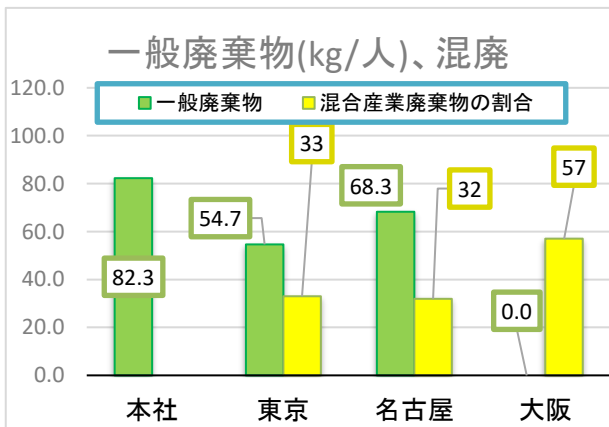
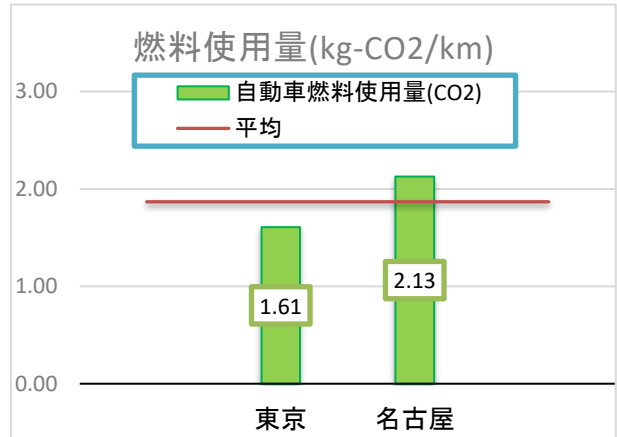
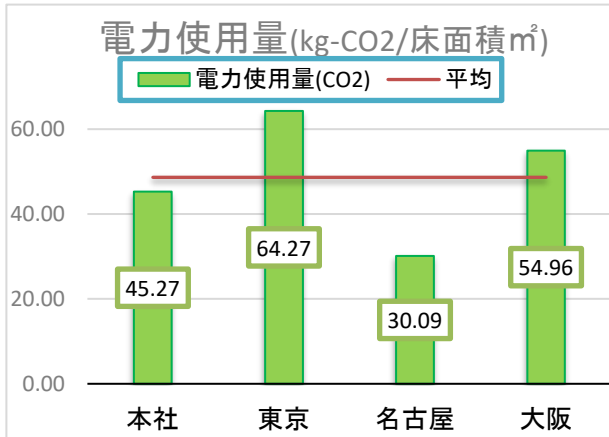
(注)購入電力の排出係数は、国が公表する電気事業者毎の排出係数



5. 期間1年間の結果（支店間比較）



☆2019年から電力使用量を床面積㎡あたりに換算する等、「原単位」を導入することにより、支店間の比較ができるようになりました。
 ☆単位を統一する事により、良い・悪いが明確になり、原因の追求が容易にでき、改善策を検討することによりさらなるエコアクションの推進が行いやすい環境になった成果を挙げています。



②環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容

(表-3)

環境経営計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減(電気) <ul style="list-style-type: none"> ① 昼休みの消灯 ② エアコンの適正温度(冷房:28℃ 暖房:20℃) ③ クールビズ・ウォームビズ運動 ④ OA機器の節電モード ⑤ 温水洗浄便座の温度設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続し節電効果が出ている。 ・室温管理は実施中。 ・クールビズは、5月～10月末まで実施。 ・ウォームビズは、11月～3月末まで実施。 ・節電モードを継続中。 ・低温設定を継続中。 	継続して実施する。
二酸化炭素排出量削減(ガソリン) <ul style="list-style-type: none"> ① 公共交通機関を積極的に利用 ② 不要なアイドリングをしない ③ 遠距離以外は給油は1/2とする。 ④ 定期的な車両の点検 ⑤ 不要な荷物は積まない 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関を利用する様徹底した。 ・エコドライブを実施中。 ・走行距離を伸ばす。 ・定期的に整備を実施した。 ・不要な荷物を降ろす様実施した。 	継続して実施する。
総排水量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ① 手洗い時の節水 ② 締め忘れ防止 ③ 節水ゴマの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・配管、衛生機器の定期点検を実施する。 ・節水効果が現れ、水量減少した。 	継続して実施する。
廃棄物排出量の削減(一般) <ul style="list-style-type: none"> ① 竣工図書のデジタル化 ② 両面コピーの励行 ③ コピー用紙の片面印刷物の再利用 ④ コピー機は使用後は節電モードにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・100%実施を目指す ・励行継続中 ・励行継続中 ・節電モードに切り換える 	継続して実施する。

環境経営計画の取組の様子



クールビズ、ウォームビズの推進



エコカーの活躍



節水ゴマの設置



事務所LED化



竣工図書のデジタル化

(表-3)

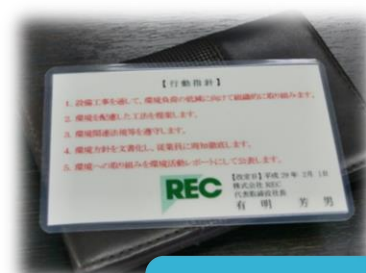
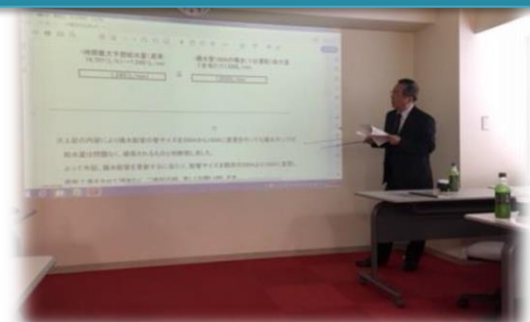
環境経営計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
混合産業廃棄物の割合の削減(産業廃棄物)		
① 保存書類を契約倉庫に委託する ② 元請工事での分別、再利用、再資源の推進 ③ 建設産業廃棄物の適正処理	・期限を決め、溶解処理をする ・リサイクルを推進する ・更なる分別搬出の推進	継続して実施する。 (分別収集の実施を忘れない。)
グリーン購入		
① 物品を購入する前に必要性を検討 ② 環境に配慮した物品(事務用品)	・不要な品物は購入しないよう吟味する。 ・可能な限りグリーン商品に移行する。	今まで以上に環境配慮品強化の購入に努める。
環境に配慮した施工方法の提案		
① 施工検討会の実施 ② 技術発表会にて改善事例報告	・検討会にて提案事項を報告。 ・技術発表会にて周知した。	継続して実施する。

環境活動計画の取組の様子



荒川区エコフワード事業者の認定

環境経営数値計画実績の報告



従業員への環境方針カード・SDGsバッジ配布で意識向上

以上、RECが取り組んだ環境活動の一例です。これからもRECは環境配慮型企业としてエコ活動に取り組み、社会に対しては環境に配慮した施工方法等を通じて持続可能な開発目標への参画と推進を行っていきます。



6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

(表-1)

法規制等の名称	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者の委託契約書及び業者の許可内容が適正で ある事の確認及び許可証の写し保管 ・最終廃棄物の削減 ・マニフェスト票による管理 	適正処理
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・各種作業に係わる技能講習の取得 (玉掛け技能講習・ガス溶接技能講習・酸素欠乏危険作業主任者技能講習等) ・化学物質等の危険有害性等の調査 	適正処理

《違反・訴訟等の有無》

環境関連法規への違反・訴訟はありませんでした。

また、過去3年間にわたり、関係機関からの違反指摘等はありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

昨年の総括で反省点として、当社の環境経営の柱である「環境に配慮した施工方法の提案」の件数・内容ともに低調である点を挙げ、改善するように指示しました。EA推進委員会で協議し、評価の視点、提案事例を見直しました。実施は2023年からになりますが、数多くの環境効果の高い提案ができるように推進します。

2020年から続いているコロナ禍ですが、換気や清掃による電気や水道の使用量につながり、かなり落ち着いてきたというものの現在も継続中です。しかしながら、コロナ禍はマイナス面だけでなく、気づかされた面も多くあると思います。テレビ会議システムの導入は、移動時間の短縮や交通費の大幅な削減に繋がり、また、会議資料(紙)の削減につながりました。さらに、会社を経営していく上で、従業員一人一人の健康の重要性にも気づかされました。

そこで、当社ではSDGsの観点からも、健康経営に着手することにしました。昨年、健康保険組合の「健康企業宣言」に取り組むことを宣言し、【健康優良企業】の認定を目指します。保険組合の認定後は、経済産業省の【健康経営優良法人】に申請し認定を受けたいと考えております。

8. 環境経営レポートハイライト



☆RECのこれまでのエコアクション活動結果を年度推移のグラフにしました！！

